

令和2年3月23日

益田市長 山本浩章様

美都地域協議会

会長 大石康人

要 望 書

貴職におかれましては益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は、益田市市政発展のためにご尽力されておられますこと、心より敬意を表します。

さて、益田市、美都町、匹見町が合併し15年が経過し、地域協議会も本年度をもって終了をすることとなりました。今日まで新市建設計画の実施と地域課題の解決に向け事業実施がされておりますが、美都地域において、地域間格差が生じている状況であります。

つきましては、地域間格差の是正と維持継続のため、下記事項を要望します。

記

1. 地籍調査の推進について

美都地域内の笹倉地区、朝倉地区、仙道地区、三谷地区は完了し、久原地区の一部、丸茂地区の一部、宇津川地区の一部、板井川地区の一部の美都地域全体の約3割は完了しているものの、残りの約7割は未着手であり、早期の着手、進捗が望まれており、事業実施をお願いします。

2. 生活環境対策の推進について

美都地域内の生活雑排水対策については、仙道地区、宇津川地区は農業集落排水事業により整備がされておりますが、生活環境の整備や自然環境の保全の観点からも未整備地区の生活雑排水対策の積極的な推進をお願いします。

3. 美都地域主要施設への支援について

美都地域には、「美都温泉」をはじめとして「ひだまりパークみと」「道の駅」「みと自然の森」は、観光や地域経済、また雇用など地域に大きく寄与する施設があり、利用者数は年間約18万人となっています。近年、人口減少や高齢化などによって来場者数が年々減少している傾向にありますが、地域の活力となる施設でありますので引き続きの支援をお願いします。

4. 地域振興基金の活用について

合併特例債の活用状況は、原則3市町等分の考え方で実施することになっていましたが、現実的には3市町等分となっていないと益田市合併報告書に記載されています。この経緯を踏まえ、合併特例債によって造成された地域振興基金の活用にあたっては、美都、匹見地域に格段の配慮をお願いします。

5. 市営住宅入居に対する支援について

美都地域には111戸の市営住宅があります。特に二川地区にある「湯の香住宅」は10戸の内1戸の入居で、ほとんどの部屋が長い間空き状態となっており、非常に寂しい光景となっています。公営住宅は家賃の決定に基準があることも承知していますが、定住対策など有効活用を図っていただくようお願いいたします。

以上